

## 第3回 SPring-8 データ・ネットワーク委員会議事メモ

日時：令和3年12月1日（水）13:00～14:00

場所：オンライン会議

### 報告事項 1: SPring-8/SACLA のデータ・ネットワークインフラの近況と今後の予定

理化学研究所 放射光科学研究センター 城地研究員から資料1により、SPring-8 のネットワーク高度化、SPring-8 のデータセンター構想、遠隔実験申請窓口の設置、外部公開サーバに対するセキュリティ監査の実施、SINET6 への移行、これらに関して報告があった。

### 審議事項 1: 遠隔接続ガイドライン

理化学研究所 放射光科学研究センター 城地研究員から資料1により、大型放射光施設ならびに X 線自由電子レーザー施設における実験制御端末への遠隔接続ガイドライン（SPring-8/SACLA 遠隔実験ガイドライン）について説明があり、以下の質疑応答を経て、議案の通り承認した。

質問：接続条件の分類にビームライン担当者であるが、専用ビームラインの場合は常駐者がビームライン担当者に該当するのか？

回答：常駐者が該当します。基本的に分類の2番目に該当する実験ユーザーはビームタイムの度に接続許可申請をいただく必要がありますが、分類の3番目に該当するビームライン担当者は、利用する度に申請するのは非効率的ですので、1年に1度利用申請をしていただく想定です。

質問：利用責任者は実験課題ごとに設置するという考えか、あるいはビームラインごとに設置するという考えか、どちらになるのか。

回答：実験課題ごとに設置するという考え方になります。

質問：実験課題ごとに利用責任者を設置する場合は、利用責任者と実験責任者は同一でも問題ないのか？

回答：同一で問題ありません。

質問：現状では Word ファイルや紙ベースによる申請受付を行っているが、今後申請の電子化予定はあるのか？

回答：利用者のニーズに速やかに答えるために、窓口開設を優先した結果 Word ファイルを利用した申請になっていますが、今後の電子化に向けて現在 WEB 申請への準備を進めており、今年度中に WEB 申請窓口を開設予定です。

質問：この規程では大まかなルールを定めていると思うが、遠隔操作を実施する上で、具体的にどのような機器を準備すれば遠隔操作が可能になるのか等の情報があればビームライン側としては助かると思うが、そのような情報を提供する機会等はあるのか。

回答：現在データ・ネットワーク委員会として運用しているホームページは、今後はデータ・ネットワークに関わる情報を掲載するポータルサイトとして運営する予定です。ご指摘いただいた情報も今後掲載していく予定です。また規程の詳細に関しては今後細則を整備していく予定です。

質問：研究交流施設で深夜などに、現場に行かずに実験状況だけがモニタリングできればいいというシーンがあるか、そのようなケースはカバーされているのか。

回答：接続条件の分類の1番目がそのケースに該当します。モニタリングのみで操作の必要がない遠隔接続の場合は、サイト内外問わず簡易的に接続可能なインフラ整備を進めていく予定です。

質問：遠隔接続は基本的に既存ネットワークから SPring-8 共用実験ネットワークに高度化されたビームラインが対象となるのか？

回答：個別対応は可能になりますが、インフラ整備の都合上、共用実験ネットワーク側が整備の優先順位が高くなります。

質問：遠隔実験申請は、装置の申請とビームタイム申請の2段階になっているが、ビームタイム申請の時外部利用者は、利用推進部にも利用申込書を提出しているが、どちらを先に提出すればいいのか。

回答：利用推進部と調整の上、ホームページに情報を掲載します。

## 審議事項 2: データセンター利用規程

理化学研究所 放射光科学研究センター 城地研究員から資料1により、SPring-8 データセンターならびに SACLA データセンター利用規程（共用実験データセンター利用規程）について説明があり、以下の質疑応答を経て、議案の通り承認した。

質問：データの保持について、アカウントの有効期限が過ぎた場合は、データはただちに削除されるのか？

回答：アカウントの有効期限が過ぎた場合や、データ保持期限を過ぎた場合は、何らかの形で通知した上で、データ削除を行うこととなります。

以上